

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県大牟田市  
 本事業の担当部局名 保健福祉部子ども未来室子ども育成課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育て、子育てと仕事の両立と多様な働き方を応援する気運醸成							
個別事業名	大牟田市こどもまんなか・子育て応援推進事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		~	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度	
総事業費(A)(円)	5,790,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	5,790,000	
対象経費支出予定額(円) <small>※補助率を乗じる前の額</small>	5,790,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	430,000	30,000	1,512,000	43,000	
	対象経費支出予定額	0	0	430,000	30,000	1,512,000	43,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	3,575,000	0	200,000	0		5,790,000	
	対象経費支出予定額	3,575,000	0	200,000	0		5,790,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通                      本市の合計特殊出生率は直近5年で1.63から1.41に低下し、コロナ禍以降は出生数と婚姻件数がさらに減少。令和6年度実施のアンケート調査では、若者は53.7%が将来的に子が欲しい一方、「結婚相手に出会えるか不安」の悩みが最も多い(42.5%)。また、未就学児がいる世帯は35.8%が次の子を欲しい一方、「上の子がいながら育てるのが不安」の悩みが経済的負担に次いで多い(39.9%)。そのため、出会い・結婚応援をさらに拡充するとともに、まち全体で結婚や子育て、子どもを応援する環境づくりを推進する。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      1年を通して、本市の結婚や子ども・子育てに係る支援等を情報発信するとともに、特に、5月・11月には「こどもまんなか月間」と連携し、結婚・子育てを応援する取組を紹介する。あわせて、子育て仲間とのつながりを深める機会づくりや地域の子育てボランティアのスキルアップ、子どもや子育てを応援するイベント等を、まちの様々な団体等と連携して実施する。これらの取組により、まち全体で子どもや子育て家庭を応援する気運を醸成し、「こどもまんなか社会」を推進する。</p>						
	番号	項目	内容					
	1	広報紙での特集記事と市民ボランティアとの連携による子育て情報紙の発行	毎月1日に発行する「広報おおむた」において、子ども・子育てに係る特集記事を毎号掲載するとともに、年に6回結婚を応援する取組に係る記事を掲載する。 あわせて、市民ボランティアと連携し、子どもの体験活動の機会や子育てに関する情報を収集し、子育て情報紙「おおむたっ子」を年3回発行する。 ○市広報紙の発行 ・子ども・子育てに係る特集記事 12回(毎月) ・結婚を応援する取組(婚活イベント等)に係る記事 6回 ○市民ボランティアとの連携による子育て情報紙「おおむたっ子」の発行 ・親子で参加できるイベントや講座、子どもたちのために活動している人の紹介、子どもの居場所などの情報を掲載 3回(7月、11月、3月)					

個別事業の内容	2	子育て家庭や子育てボランティアを対象とした講座の実施	乳幼児を持つ保護者等を対象に、保護者同士が交流し、情報交換を行う機会を創出することで、子育て仲間とつながりを深めることができたり、子育てへの一助となるような知識を学んだりできるよう、子育てに係る複数の連続講座や絵本を使った赤ちゃんとのコミュニケーションの方法等を学ぶ講座を開催する。 また、地域で子育て家庭を支援している子育てボランティアの養成やスキルアップを図るための講座を開催する。 ・子育て仲間とつながりを深める子育てに係る講座 15回(3回講座×5事業) ・絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座 10回 ・子育てボランティアの養成、スキルアップ講座 2回
	3	まちの様々な団体等との連携による子ども・子育てを応援するイベントの実施	まちの団体や事業者等と連携し、子どもや子育て家庭を応援するイベントとして、未就学児やその保護者等を対象とした農作物収穫体験や運動教室を実施する。 ・農作物収穫体験 3回 ・運動教室 5回
	4	SNSによる子ども・子育て情報の発信強化	子ども・子育てに関する情報を発信する子育て家庭向けInstagramアカウントを開設し、情報発信をさらに強化する。 市や地域などで実施する子ども・子育て支援の取組等を子育て家庭や市民に広く知ってもらうことで、まち全体で子どもや子育て家庭を応援する気運を醸成し、「子どもまんなか社会」を推進する。 ・情報発信のノウハウをもつ民間企業にInstagram運用、記事作成支援を委託 ・SNS広告を活用した情報発信
	<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・催しの感想や満足度について参加者にアンケートを行い、魅力的なイベントや講座となるようブラッシュアップを実施。</li> <li>・子ども・子育てに関する情報を発信する子育て家庭向けInstagramアカウントを開設し、さらなる情報発信の強化を図る。</li> </ul>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率の上昇		%	1.42以上 (R10年度)	1.28 (R6年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.28 (R6年度)	
	婚姻件数		件	287 (R6年度)	
	婚姻率			2.8 (R6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	子育て講座及び子育てボランティア養成講座の参加者数	人	160 (R8年度)	140 (R7年度見込)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	96 (R7年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					